

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	利用者が重度化・終末期にさしかかった場合の、ホームでの対応力の向上	一部の職員のみでなく、夜間帯を勤務する職員全員に技術を身につけさせたい。	痰の吸引、点滴溶液のパックの交換は最低出来る様に、専門機関の研修を受ける。	6ヶ月
2	1	他業種から転職した職員が多いため、グループホームの意義を理解していない職員が多い。	介護保険における、地域密着型サービスの意義を踏まえた、グループホームの理念を実践化していきたい。	定例のミーティングでの問題提起をし、その話し合いの結果に基づき、実践状況をフォローしていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。